

平成27年9月関東・東北豪雨災害を 踏まえて対応すべき課題

平成27年9月関東・東北豪雨災害を踏まえて対応すべき課題

○ 住民等に対し、堤防の決壊により家屋の倒壊等のおそれがある区域や浸水が長期に及ぶ区域等からの立ち退き避難を如何に促すか

- ・地方公共団体からの避難勧告等の適切な発令の促進
- ・住民等における主体的な避難の促進

・ 鬼怒川の堤防が決壊し氾濫流により多くの家屋が倒壊・流失した。宅地及び公共施設等の浸水解消までに約10日間を要した。常総市で約4,300人が救助された。

○ 広範囲かつ長期にわたる浸水が発生する中で、多数の立ち退き避難者に対応するために必要となる市町村を越えた広域避難を如何に実現するか

- ・ 常総市の約1/3の面積にあたる約40km²が浸水。常総市の避難者数約1,800人のうち、半数程度は市外の避難所に避難。

○ 団員の減少や高齢化等が進行する中で、的確な水防活動を如何に担保するか

- ・ 避難の呼びかけや誘導等も実施する必要があったため、全ての箇所ですのう積み等を実施することはできなかった。

○ 水害リスクを踏まえた土地利用の誘導や抑制等を如何にして促進するのか

- ・ 宅地及び公共施設等の浸水解消までに約10日間を要した。

○ 施設能力を上回る洪水による大規模氾濫に対し、被害軽減を図るためのハード対策を如何にして計画的に実施するのか

- ・ 常総市の約1/3の面積にあたる約40km²が浸水。宅地及び公共施設等の浸水解消までに約10日間を要した。